

天気予報

瀬上 結香

調べたきっかけ

私は理科の授業で天気について勉強しました。そして自主勉強で雲について調べました。なので今度は天気予報について調べたいと思います。調べました。

分かっただこと

～昔～

衛星などが無かった昔は、天気の变化を気にしないといけない人達などが空の様子を見て、記録していました。その記録を集め、パターンを作り、経験則で予想していたそうです。

～現代～

宇宙からの気象衛星からの写真や、気象レーダー、気象台や数百か所

の測候所などが測定して、気圧・風向き・風速・気温や湿度などの大気の状態を観測します。その観測結果を大気の状態を計算するためのスーパーコンピュータに、昔からのデータを詰め込んだ方程式を使わせ計算させます。その結果などを、更に気象庁の予報官が分析し、テレビで気象予想士、新聞などが発表します。コンピュータだけの予想の的中率は70%くらいだそうです。なので最終的には、「人」が予報を決定する事になります。

～的中率～

1950年時点では70%程度。

1970年後半に80%こえ。

2006年は約86%くらい。

90%こえは、いまだ果していない

そうです。

まとめ
天気予報は、気象衛星からの写真
や測候所などが測定し、スーパーコ
ンピュータで計算させ、気象庁の
予報官が、分析する。そしてテレ
ビや新聞などで発表する。
的中率はまだ90%をこえていない。

感想

気象衛星から、写真などから測定
し、コンピュータに計算させるだ
けかと思っていました。でも、最
終的には人が予報していて、おど
ろきました。それに、的中率が90
%をこえていなかった。ので、もう
少し進化が必要だなと思いました。
私も気象予報士になりたいという
あこがれが少しできました。
これから勉強をがんばり、気にな
ったことをたくさん調べていき
たいです。

